

化学委員会分科会の設置について

分科会等名：分析化学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	化学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	本分科会は分析化学を中心にした諸問題を審議する。本分野は、今迄の分析化学に加えて、生きた細胞における分子-分子相互作用を、光反応や化学反応を利用して解析する研究などへと新展開しつつある。特に1分子分光法は生物物理学分野の基盤技術になりつつある。また計測技術の自動化・リモート化、新しいハード、原理探索に関わる研究発表、機械学習を活用した計測、リアルタイム計測、生体の微小領域分析、宇宙とリモート計測、さらに、オペランド計測におけるAIの有効活用の重要性が議論される。この学問分野のさらなる発展のために研究会を企画する。IUPACのDivision別問題の国内対応の役割も果たす。
4	審議事項	1. 分析化学研究の推進と分野の活性化 2. 分析化学に関わる諸問題に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月3日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※設置期間の延長 24期までの活動における議論の結果、また令和2年11月11日に開催した学術フォーラム「コロナとの共生の時代における分析化学の果たす役割」を踏まえ、25期において分析科学分野を取り巻く諸問題に関する調査審議並びに情報発信を継続する必要があるため。